

<アメリカ史、アフリカ系アメリカ人、公民権運動>

アメリカにおける人種問題:フィスク大学人種関係学資料

Race Relations in America

From Amistad Research Center, New Orleans



歴史ある黒人大学フィスク大学の Race Relations Department(人種関係学部)は、1943 年から 1970 年まで設置され、人種問題の研究拠点として米国において多大な影響力をもちました。同学部は、貧困と不平等、階級、住宅、雇用、教育、政策等をテーマに取り上げ、そのプログラムは、キング牧師や黒人初の最高裁判事サーグッド・マーシャル等、多くの公民権運動、社会運動の活動家を引き付けました。また、Race Relations Institute として知られるサマースクールも有名で、運動指導者の輩出、教育に貢献しました。

この学部は、アメリカ宣教師教会(American Missionary Association)によって人種関係の問題を特定し対話の道筋を築くことを目的に設立されました。残された膨大な記録は、ニューオーリンズ州アミスタッド研究センター (Amistad Research Center) に所蔵されており、本データベースは、これをデジタル化することでこの学部の活動に光を当てるものです。本コレクションは、20 世紀の公民権運動と人種関係の主要な問題を記録した貴重な一次資料です。

インタビュー、アンケート、統計、データと分析といった調査資料や、こうした調査を独自に実施する他の組織や都市へのアドバイス、演説の録音とトランスクリプト、研究会参加者の写真、スライド、書簡、報告書、議事録、地図、スクラップブック、定期刊行物を収録しています。

(Adam Matthew Digital, GBR / 日本総代理店：丸善雄松堂)

《裏面に続きます》

- ◆ 消費税に関しましては税制の改正に則った内容で対応させていただきます。掲載製品はリバースチャージ対象製品です。
- ◆ 原価の改定、為替相場の変動などの理由による価格の変更や掲載タイトルの変更につきましては、予めご了承の程お願い申し上げます。
- ◆ お見積りも、別途ご用命ください。

Race Relations in America

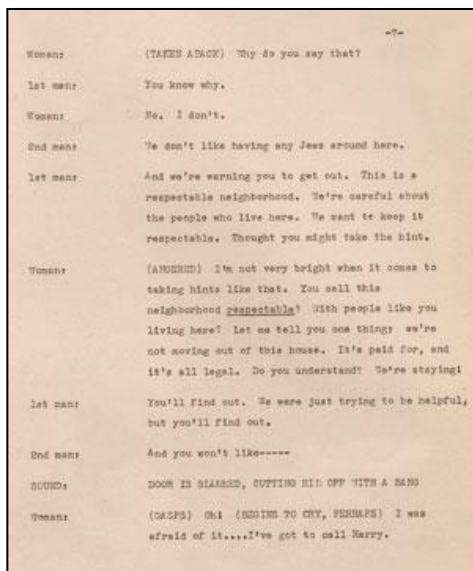
【収録資料一例】

- **100時間以上もの音声資料**：公民権運動の主要人物や著名な社会学者、経済学者などによるスピーチ
- **調査資料**：学校での差別、教会の統合、雇用問題、住宅などに関するもの
- **ケーススタディ**：米国内の主要都市における調査など
- アフリカ系アメリカ人の投票を阻害する活動への対抗キャンペーン
- 写真
- スクラップブック
- ポスター



【主なトピック】

- 犯罪と警官の蛮行
- 地域での抵抗運動と人種暴動
- 貧困と差別
- 投票権
- 都市開発と住宅問題
- 保健医療と福祉プログラム
- 南部から北部の都市への移住
- 人口統計学
- アフリカ系アメリカ人コミュニティにおける教会の役割
- 労働運動
- 学生の抵抗と非暴力的なデモ
- アフリカ系アメリカ人の文化
- インディアン、メキシコ系アメリカ人、プエルトリコ、中国、日本などの民族グループ



【編集委員】

- **Marybeth Gasman**, University of Pennsylvania
- **John Giggie**, University of Alabama
- **Christopher Harter**, Amistad Research Center, New Orleans
- **Thomas Pettigrew**, University of California Santa Cruz
- **Carmelita Pickett**, University of Iowa
- **Katrina M. Sanders**, University of Iowa



【価格体系】

FTEにより価格が異なります。

FTEは人文社会科学系学部の学生数(学部生+院生)より算出いたします。

価格は概算参考価格(税抜)です。

FTE <5,000 (Band 0)	FTE 5,001-10,000 (Band 1)	FTE 10,001-15,000 (Band 2)	FTE 15,000< (Band 3)
価格はお問い合わせください			



リリース年=2017

◇ 完全買い切り・アクセスフィー無し ◇ バックアップ HDD 提供可能 ◇ 同時アクセス無制限

無料トライアル受付中

トライアル・商品のお問い合わせ先：丸善雄松堂株式会社 企画開発統括部
e-support@maruzen.co.jp